

# OSCE

～目指せ！看護実践力アップ～

新卒者がOSCEを実施しました。模擬患者を設定し、「車椅子の移乗・移送」「酸素療法」「口鼻腔吸引」を行いました。振り返りでは、自己の到達度を確認し、看護技術を向上するための改善点を見出すことができました。

**Objective Structured Clinical Examination** **客観的臨床能力試験**  
 実際の臨床場面を想定して模擬患者さんに看護を実施する実技試験

中央配管からの酸素送気と酸素ポンベの正しい取り扱いについて確認しました。



酸素チューブが引っ掛からないように長さや位置を確認し、患者さんの安全に配慮しながら介助をしていました。



体調を気遣った声掛けやわかりやすい説明を意識していました。



患者さんの観察を行い、吸引の必要性をアセスメントした上で、苦痛に配慮しながら吸引を実施していました。



## Debriefing

実施後は指導者、模擬患者と共に振り返りを行いました。酸素送気をした患者さんの車いす移乗では、「中央配管に付け替えるタイミングに迷った」などの声が聞かれ、部署での実践に向けて具体的な改善策を検討しました。



患者役の先輩看護師からも「こまめな声掛けがあり、気にかけてくれていると感じた」などのコメントがありました。

患者さんの手が届く位置にティッシュを配置するなど、普段から患者さんが安楽に過ごせるような環境整備を意識していることが伝わってきました。



## OSCE評価結果より

吸引の手技や車椅子移乗介助、患者への声掛けなど、できている点が多くありました。一方で、適切なPPEの着脱や、必要なタイミングでの手指消毒など課題も明らかになりました。

